

## 殺虫殺菌剤

さきもり

### 防人®箱粒剤

クロラントラニプロロール……………0.75%  
 トリフルメゾピリム……………0.75%  
 イソチアニル……………2.0%

種類名/クロラントラニプロロール・  
 トリフルメゾピリム・イソチアニル粒剤  
 農林水産省登録/第24129号  
 毒性/普通物\*  
 有効年限/5年  
 包装/1kg×12、10kg、  
 40kg(受注生産の担い手直送規格)

## 特長

- 1剤では種時～移植当日処理が可能です。
- いもち病に高い効果を示します。
- 初期害虫をはじめ、ウンカ類・チョウ目害虫へ高い効果を示します。

## 適用病害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (育苗箱)	いもち病 もみ枯細菌病 白葉枯病 内穎褐変病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ コブノメイガ フタオビコヤガ イネツトムシ 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	育苗箱 〔30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ〕 1箱当り50g	は種時 (覆土前) ～移植当日	本剤 1回 クロラントラニプロロール剤 1回 トリフルメゾピリム剤 1回 イソチアニル剤 3回 〔移植時までの処理は1回、 本田では2回〕	育苗箱の上から 均一に散布する
	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌)	高密度に は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g	は種時 (覆土前)		
	育苗箱 〔30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ〕 1箱当り50g	は種時 (覆土前)			
稲	いもち病 ウンカ類 コブノメイガ	1kg/10a	移植時	本剤 1回 クロラントラニプロロール剤 1回 トリフルメゾピリム剤 1回 イソチアニル剤 3回 〔直播での種時又は移植 時までの処理は1回、本田 では2回〕	側条施用

## 使用にあたって

### ■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 育苗箱の上から均一に散布する場合、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粕として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの葉量を50から100gまでの範囲で調整してください。

- 移植時側条施用に使用する場合は、専用の移植同時施薬機を用いてください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

#### ■薬害

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出ししないように注意してください。
- いくさ栽培予定の水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいくさを栽培しないでください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合がありますので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。

#### ■水産動植物への注意

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

#### ■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

#### ■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。